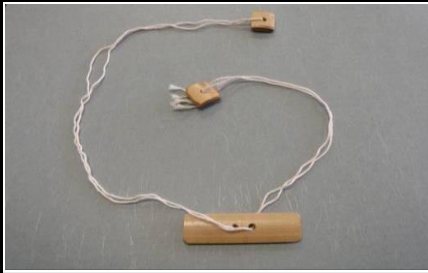


活動名		ブンブンごま(竹)				
概要	○竹の特徴を生かしてブンブンごまを創作する。					
ねらい	○竹の特徴を理解し、それを生かしながら創作する。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○できあがった作品で遊ぶことで、創作の喜びを味わう。					
関連教科等	図画工作・理科・総合					
指導形態	「自主活動で実施」「職員は活動の説明のみ行う」「職員が指導を行う」					
時期	通年	時間帯	日中		対象	高学年～
場所	創作棟	人数	～70人/1部屋		所要時間	1～2時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	材料、のこぎり、きり、定規、鉛筆、小刀はさみ、サンドペーパー、水系、竹ひご			なし		
進め方・展開例						
内容				留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。		
活動の説明	○竹の特徴や道具の取り扱い方を説明する。 ○作り方を説明する。			○刃物の取り扱いに十分注意させる。 ○小刀は、使うときだけ鞘から出し、自分の肩幅内で操作することを伝える。また、脇をしめて扱うよう指導する。⇒「刃物の扱い方シート」を活用する。 ○創作説明用のシートを使用する。		
展開	①小刀で竹の内側の面を削る。 ②ものさしと鉛筆を使って、竹にしるしをつける。 ③きりで4カ所穴をあける。 ④のこぎりで切る。 ⑤サンドペーパーでそれぞれの角を削る。 ⑥水系を通し、結ぶ。 ⑦仕上がった作品で遊ぶ。 ⑧後片づけをする。			○竹に穴をあけたり、切ったりする際には、机の段差に竹を固定して作業を行うとやりやすい。 ○きりの先端が完全に突き抜けるまで穴をあけるようにする。 ○水系は、折り返した長さが自分の肩幅程度になるようにする。 ○うまくごまが回らない場合は、ごまの部分を調整したり、回し方のコツを伝えたりする。		
まとめ	○活動をふりかえり、よかったことや楽しかったことなどを発表し合う。					
評価	○竹の特徴を理解することができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○楽しみながら作品づくりに取り組むことができたか。					
発展	○実際に竹藪に入って竹を切るところから始めてもよい。					